

平成28年度 学校自己評価システムシート (川越東高等学校)

目指す学校像	恵まれた自然環境と充実した施設・設備のもと、文武両道の精神で心身を鍛えることを目指す。また、全人教育の理念のもと、知育・徳育・体育という教育の原点を追究し、健全な青年の育成に教職員一同全力で取り組む。
--------	--

重点目標	1 教員一人一人が教科研修に励むことで授業や講習などを充実させ、生徒の学力向上に努める。 2 外部に対して情報を積極的に公開し、開かれた学校作りを一層推し進める。 3 目標を高く設定させ、進路実現に向けた指導体制を学校全体で作り上げる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	1名
	事務局(教職員)	4名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標				年度評価(2月8日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> ○授業指導力・授業展開力の向上は、常に必要なことである。 ○年々生徒の学力が下がっているため、授業の工夫が必要となっている。 ○業務多忙のため、学問研究がおろそかになっている。 	授業改善を始めとする学力向上に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が2年に1回、研究授業を実施する。 ・シラバスの内容を精査し、教科全体での取り組みを進めていく。 ・校外で実施される教科研修会に積極的に参加する。 ・研究授業のみではなく、互いに授業見学を行う。 ・生徒の学力分析を行い、教科全体で対策を講じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業の反省会をもとに授業改善の努力をしたか。 ・シラバスをもとに、三年間の体系的な学習指導計画を作成したか。 ・教科研修会の情報を教科内で共有したか。 ・自由に授業見学が実施できたか。 ・校外模擬試験の分析を適宜行い、苦手分野の克服に努めたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通り各学期ごとに教科単位で研究授業を実施し、教科会議等で反省会を行った。 ・生徒対象のアンケートを年2回実施し、集計した。 ・シラバスを生徒に配布し、入学から卒業までの三年間の学習内容を見据えさせた。 ・授業や講習をとおして、指導力を向上させる努力をした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の本筋は授業であるということ念頭に置き、授業で生徒を育てるという認識を全教員が持つ。 ・生徒からの授業評価を実施する。 ・課外講習を更に充実させ、生徒のニーズに応える。 ・授業力向上のための教員研修会に積極的に参加する。 ・プロジェクターやタブレットを使った授業への取り組み方を研究する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○受験生向けの情報発信に関しては、ホームページなどで積極的に提供しているつもりであるが、体系的にタイムリーな情報を流しづらい。 ○保護者に対する情報提供に関しては、電子メールなどを用いて、効果的に行わなければならないと感じている。 	開かれた学校作りの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを再構築し、特定の教員だけでなく、すべての教職員が情報を発信できるようにする。 ・保護者会、面談、懇談会を定期的に実施する。 ・オープンキャンパスや学校説明会にて、参加者の意見をまとめ、今後の課題を検討する。 ・クラブごとの保護者会を定期的に行い、課外活動での情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをリニューアルし、ストレスのないページ更新が可能となったか。 ・保護者対象の学校評価アンケートの分析を行ったか。 ・塾対象の説明会を実施したか。 ・地域主催の学校説明会に対し教員を積極的に派遣し、本校の説明を行ったか。 ・本校において学校説明会を行い、本校の概要を説明したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルが完成した。また、学校外からもタイムリーな更新が可能になり、修学旅行やスキー実習で活用した。 ・生徒や保護者からのアンケートを集約、分析して、学校運営に役立てた。 ・学校説明会やオープンキャンパスを開催し、多数の来校者を迎えることが出来た。 ・近隣の中学校の生徒が本校図書館で、夏休み中に勉強会を行った。 ・出前授業を行い、中学生に本校の情報を伝えた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを更に充実させるようにする。 ・図書館などの施設・設備を積極的に活用してもらう。 ・近隣中学校との連携を密にする。 ・ホームページ以外にも情報を提供できるよう、インフラの準備に努める。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての生徒が本当に入学したい大学へ行けるよう、充実した教科指導や個々の添削指導などを行う必要がある。 ○時間的な制約もあり、大学入試問題の研究や、その内容を授業に反映することが、思うようにできない現状がある。 	進路実現に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・二者面談や三者面談を通じて生徒の希望を常に把握する。 ・生徒の意識を向上させるべく、モチベーションがアップできる環境を作る。 ・授業内での不十分な箇所を講習の実施や課題を行わせることで補う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題研究を積極的に行い、授業や講習等にてフィードバックがなされたか。 ・講習の参加率が上昇していたか。 ・第一志望を下げさせず、しっかりと努力させることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三者面談、二者面談を行い進路実現に対する指導がしっかりできた。 ・課外の講習を実施し、各学年8割以上の参加があった。 ・志望半ばにして、本意ではない大学へ進学していった生徒も見うけられた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間の増加を根気強く促していく必要がある。 ・生徒と常に接しながら目標達成に向けての指導を充実させる。 ・授業を通して、受験生としての心構えをしっかりと植え付けることが必要である。

実施日	平成29年2月25日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の工夫・努力によって、授業が自習になることがほとんどないのは、大変ありがたい。 ・講習の充実は、大変助かっている。 ・シラバスによって、授業内容の全体像がつかめるので、関心をもって見ている。 ・アンケートの集計をタイミング良く実施して、指導機会を逃さないようにしてほしい。 ・プロジェクターやタブレットを使った授業の研究を進めてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・進路のプリントが充実しており、大変参考になる。授業を実施しながらのプリント作成は大変だろうが、今後も是非続けてほしい。 ・保護者会での外部講師の講演は、勉強になることが多い。今後は国立大学・私立大学をバランスよく紹介してもらったり、文理別などの細かい内容に踏み込むなど、さらに充実させてもらいたい。 ・出前授業は高校の先生の授業を受けられる数少ない機会なので、中学生にとっては新鮮である。これがきっかけになって、受験を意識することもある。 ・生徒一人一人の学力を伸ばし切れているかどうかをいつも意識しながら指導してほしい。 ・夏期講習や冬期講習が無料で受講できるのは大変ありがたい。 ・3年生は入試直近であるので、講習の内容のさらなる充実をお願いしたい。内容を精査して、テーマ別の講習なども各教科で設置してほしい。